

「若芽の風が吹く」 近藤 彩香

KONDO
SAYAKA



2026年制作 W50×D45×H100cm
水性樹脂、アクリル絵具

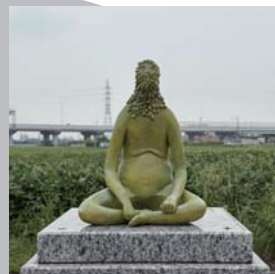
展示場所を拝見したとき、近くに田んぼが広がり、自然とともに作品を展示できる素敵な場所だと感じました。本作品は「自然」を、生命が循環し変化し続ける場所と捉え、蛹の羽化をモチーフに制作いたしました。未知の世界へ踏み出すときの期待や不安、そして生命が連続し続けることへの静かな美惑を感じる作品を目指しました。



2003年 愛知県豊田市生まれ
2022年 愛知県立芸術大学美術学部彫刻専攻入学
「ターナー・アワード2022」入選
2024年 「第62回豊田市民美術展」審査員特別賞
2026年 「令和7年度愛知県立芸術大学卒業・修了制作展」名古屋工業大学賞
愛知県立芸術大学美術学部彫刻専攻卒業
愛知県立芸術大学美術研究科彫刻領域在籍

「渴き」 小林 真理子

KOBAYASHI
MARIKO



2026年制作 W45×D45×H60cm
水性樹脂、アクリル絵具

この作品は「気根」をモチーフにしています。「気根」とは、植物が水や酸素不足でストレスを感じた時に、それを補おうとして茎からブツブツとしたものを出す現象です。頭のブツブツは気根を表しています。「生き物は足りないものを補う」ことを改めて気付かせてくれた気根をヒトのような形で表現する事で、私の感じたことを誰かに気づかせる、あるいは、他の何かを感じ取られるような「形」にしました。



1996年 フィリピン生まれ
2020年 「沖展e-noj」新人賞
2022年 大度浜海岸(ジョン・万ビーチ)にて作品設置 2人展「真昼の夢」
2023年 沖縄県立芸術大学美術工芸学部美術学科彫刻専攻卒業
2人展「もやもやアラルカ」出展
2024年 沖縄県立芸術大学美術工芸学部美術学科彫刻専攻研究生終了
2026年 愛知県立芸術大学美術研究科博士前期課程美術専攻彫刻領域卒業

「機械化された 蒸気の記憶」 矢野 大登

YANO
DAITO



2026年制作 W180×D80×H140cm
樹脂(アクリリックワニス)、鉄、木

幼少期に家族と見た蒸気機関車に心を奪われた記憶を出発点に制作した。本作品では、動輪や配管を直角的でエッジの利いた形で構成し、鉄の塊としての圧や重厚な存在感を表現した。また、褐色や錆び色を用いることで、朽ちてなお存在し続ける蒸気機関車の力強さを表した。



2003年 名古屋生まれ
2023年 「二十歳の輪郭展」出展
2024年 「U20日展」入選
2025年 「第54回日展」入選、「第20回CBC翔け！二十歳の記憶展」出展
ギャラリー美丘 グループ展「もう一つの卒業」
2026年 愛知教育大学教育学部義務教育専攻図画工作・美術専修卒業
愛知教育大学教育学部研究科教育実践高度化専攻教科指導重点コース在籍
「第55回日展」入選

「うまれていく」 加藤 小花

KATO
KOHANA



2026年制作 W30×D30×H50cm
陶

私は「現象」そのものに興味が、土が内側から膨らみ、形を変えていく「発泡」に着目しました。発泡によって生まれる予測できない膨らみや凹凸を、何かが生まれ、増殖していく過程として捉えています。本作では、土が自ら形を変えることで、まだ名前のない存在が生まれていく姿を表現しました。



2004年 愛知県生まれ
2023年 名古屋芸術大学芸術学部芸術学科入学
2024年 「メイゲイのユウゲイ2024」名古屋栄三越特選画廊
2025年 「FINE ART FAIR 2025」名古屋市民ギャラリー矢田
「Artist N.G.Y 2025 ～アート、今、未来～」松坂屋名古屋本店ART HUB
NAGOYA open gallery
「メイゲイのユウゲイ2025」名古屋栄三越特選画廊
「Alternative Rice Field」愛知県豊田市大橋園芸

「バッド×モード」 向山 佳伴

MUKAIYAMA
YOSHITOMO



2026年制作 W80×D80×H150cm
アクリリックワニス樹脂

本作では「睨み」という表情に着目し、反骨心や生命力といったエネルギーが分散される状態を造形することを目指した。肉が押しつぶされたり、隆起したりするさまをデフォルメされたキャラクターの表情を通して表現することにより、より肉感や表情を強調して表すことを目指している。



2023年 「第69回全日本肖像画展」入選
2025年 「第101回白日会展」入選
2026年 「第20回CBC翔け！二十歳の記憶展」出展
愛知教育大学教育学部義務教育専攻図画工作・美術専修卒業
2026年 「第55回日展」入選

「湖みたい」 伊藤 輝

ITO
HIKARU



2026年制作 W50×D50×H60cm
セラミック・ガラス

人は誰もが、自分だけの風景を内側に抱えている。人物の身体の中に広がる海は、記憶や経験によって形づくられた内なる風景である。小さな船は、その風景を旅する存在として浮かんでいる。



2003年 大阪府生まれ
2026年 愛知県立芸術大学大学院在籍
「第20回CBC翔け！二十歳の記憶展」中日新聞社賞

野外彫刻 プロムナード展2026

2026 9.12 Sat → 2027 10.1 Fri

会場

パティオ池鯉鮒(知立市文化会館)
知立市上重原瀬口116番地

- 名鉄名古屋本線「知立駅」より徒歩20分
- 知立市ミニバス「知立駅」から「文化会館」10分
- 国道23号線知立バイパス上重原1.Cより車で5分

主催：野外彫刻プロムナード展振興運営委員会 知立市広見3丁目1番地(知立市役所 都市計画課都市企画係) tel 0566-95-0129
共催：知立ライオンズクラブ
後援：知立市文化協会、知立市観光協会、知立市教育委員会、知立市